

就職・
キャリア支援課通信

4年生の就職状況について

平成20年9月のリーマン・ショック以降、世界的な景気の悪化にともない、我が国の就職状況も急激に悪化しました。その後さまざまな景気対策が実施されていますが、まだともリーマン・ショック以前の就職状況までには改善されていません。そのため今年の本学に対する求人も前年比約25%減と、学生には厳しいものとなっています。

8月末までの内定者数は487名で、前年比マイナス13名となつていて、今後も厳しい状況が考えられます。ただし、7、8月の内定者数は、前年比プラス55名の191名となっています。

8月6日に4年生に対する学内での企業合同説明会を開催しました。当日は企業56社と学生300人以上が参加し、それ以降の内定に繋がっています。この時期でも地元の中堅企業を中心に求人票がたくさん届いていますので、就職・キャリア支援課へご相談ください。

3年生への就職支援について

就職支援講座を、今年は10月から12月までの3ヶ月間は毎日実施します。講座の内容は、自己分析講座・SPI解法講座・履歴書などの書き方講座・面接講座・企業研究などです。3年生全員

が少人数で受講できるようにしています。なお、講座のほとんどが授業と重複しにくい1限目に開講しています。就職活動に必要な知識や情報を獲得できる体制を整えていますので、積極的に活用してください。

(就職・キャリア支援課 課長 佐多慎輔)



学部の就職通信

商学部独自の就職支援対策

商学部では、正課授業で学修する専門科目の授業内容そのものがビジネスに結びついており、商学部で学ぶことそれ自体が、職業選択や将来の就職の可能性を広げるものになっています。そのうえでなお、独自の就職支援行事を企画し実施することにより、対外的にも評価されるような成果を出せるように努力しています。

昨年の実績を紹介しますと、2009年7月に出版された「2010年版就職に強い大学」(読売新聞社)の中の「商学部全国就職率ランキングで、第9位と評価されています。」

2年生対象のキャリアセミナー

12月に商学部卒業生を講師に招いてセミナーを実施しています。昨年は、製薬会社や金融機関に就職した卒業生、税理士法人に勤務している税理士の卒業生、そして大学院ビジネス研究科に進学した大学院生から有益な話を聞いていただきました。その内容は、①在学中の勉学や就職に対する取組み、②現在の勤務先での仕事内容や経験談、③後輩への役立つアドバイスなどでした。2年生にとっては、大学生活の中間点であることから、この時期に就職支援行事を行う意義があると思います。

3年生対象のキャリアセミナー

7月に就職内定者の4年生を招いて体験報告会を実施しています。今年も、4年生5名に登壇してもらい、就職活動への取組みや内定をもらうまでの苦労した話などをしてもらいました。写真は、熱心に聞く会場の風景と4年生の内定者5名です。就職活動の参考になる話に対して、参加者からの質問も多数みられました。3年生にとっては、秋からは本格的に就職活動が始まりますので、就職活動が必要とされる

情報を、適時に提供できる支援体制が求められます。

このセミナーは、90分を設定していますが、その企画や準備の作業発表者の選定や事前打ち合わせなどには、相当の時間と労力を必要とします。しかし、その成果が大きければ大きいほど、実施する意義があると思います。

商学部就職委員による
3年生対象の就職面談会

10月から12月に、個別に就職面談を実施しています。この就職面談会実施の目的は、演習(ゼミ)指導教員、就職・キャリア支援課および就職委員の三者の連携をはかり、学生の就職活動が円滑に行えるように指導体制を整え、高水準の就職内定率を維持することにあります。就職面談に参加する3年生は、就職活動への取組みの早い学生も多数みられますが、就職活動について不安を持っている学生や、業種・業界を決められない学生など、実際に面談を実施するとさまざまな学生に接することができ、就職委員および演習担当者は、1人ひとりの学生の話聞いて、適切なアドバイスをしています。

(商学部教授・就職委員長 杉野博貴)

シリーズで4回にわたって文系学部の取り組みを紹介していきます。次回は文学部です。

